

安心して
学べる
仲間づくり

教材研究
指導スキルの
向上

家庭学習
との
つながり

学習指導
要領の
理解

Hirakata 授業スタンダード

～教師主体の一斉授業からの脱却、「教え」から「学び」への転換～

学習の見通し

本時のめあてを提示し、
学習の見通しを持つ活動がある

驚きや不思議さ、必要感や不都合感のある、
思考を促す課題を効果的に示します
子どもに授業の流れをつかませ、
課題解決に向けた見通しをもたせます



じっくり考える活動

一人で考える時間がある

じっくり考える時間を確保し、ひとりひとりに
自分なりの考えをもたせます
自分で考えたことを根拠とともに
タブレット端末やノート等に
書かせ、整理や自己検証をさせます



授業計画時に大切にしたい

5つのCの視点

Challenge

チャレンジ・挑戦

学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成したりするために、困難な問題や未経験のこと等に積極的に取り組みます。また、自分自身で新たな課題を発見します。

Communication

コミュニケーション・意思伝達

相手の立場を意識しながら、自分の考えを相手にわかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意見や考えを正しく理解するために聴きます。

Collaboration

コラボレーション・協働

課題を解決したり目的を達成したりするために、自分と異なる考え方を持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

Creativity

クリエイティビティ・創造

課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを表現します。また、アイデアを相手と共有することで、より深まりのあるアイデアを創り出します。

Critical thinking

クリティカルシンキング・思考判断

物事を多面的な視点でとらえながら、調べた内容や相手の意見等の情報を正しく判断するために、その理由や事実と矛盾がないかどうかについて、自ら考え、分析し、判断します。

めざす子どもの姿、 つけたい力を明確にした 逆向き設計の単元指導計画

家庭学習と学校での学習を
シームレスにつなぎ、
単元を通した学習活動の充実を

学習の見通し

じっくり考える活動

まとめ・振り返り

交流し、深める活動



まとめ・振り返り

授業をまとめたり、
振り返る場面がある

学習したことのまとめや振り返りを板書、発表、
確認問題等で共有します
個別の気づきや新たな課題を引き出し、自分の
言葉でタブレット端末やノート等に根拠とともに
書かせます

交流し、深める活動

交流する時間がある

(目的に応じてペア・グループ・全員等で)納得解や
最適解を検討する場をつくり
捉え方や考えの違いから再確認や新たな発見を促し、
自分の考えを再構築させます

「じっくり考える活動」や「交流し、深める活動」を効果的に繰り返し、往還することや、子どもたちが選択しながら活動することが大切です。